

2019年1月11日

報道関係各位

一般社団法人ナレッジキャピタル

	<p>グランフロント大阪 知的創造・交流の場「ナレッジキャピタル」 中国杭州万科プロジェクトの複合施設 Knowledge Cityと相互協力に合意</p>	 黄龙万科中心 KNOWLEDGE CITY
---	---	---

一般社団法人ナレッジキャピタル（代表理事：宮原 秀夫）は、中国国内で進められている都市開発プロジェクトの複合施設「Knowledge City」と、相互協力することに合意しましたのでお知らせします。



「Knowledge City」外観



現地で行われた MOU 調印セレモニー

ナレッジキャピタルは、国際交流の推進を目的に、海外各機関との連携を進めています。これまでに香港や韓国、フランス、オーストリアをはじめとしたアジアやヨーロッパ諸国の文化・研究機関などとMOUを締結し、各連携先の国や地域で行われるビジネス会議および展示会にナレッジキャピタルの参画者とともに参加するなど継続的な国際交流を行っています。今回の締結により海外の連携機関は、8カ国15団体となりました。

「Knowledge City」は、中国大手不動産デベロッパーである杭州万科が、中国国内でも中心的事業と位置づける都市開発プロジェクトです。

2018年7月に、杭州万科視察団が世界における都市開発の先進事例としてナレッジキャピタルを視察し、意見交換を行いました。また、同年12月5日（水）には、ナレッジキャピタルがKnowledge Cityを訪問し、「新しい都市創造」について提案するとともに、今後、双方の参画者による人的交流や、国境を越えた産学連携など、新しい街のあり方に関して継続的に情報交換を行うことに合意し、Knowledge Cityの運営組織「杭州大希基業企業管理合伙企業」と、2018年12月27日（木）にMOU（相互連携に関する覚書）を締結しました。

そして、Knowledge City内にある街のコンセプトやさまざまな活動を体験できる参加型施設「K-Lab」の開業前日である2018年12月27日（木）に現地で調印式を行い、翌12月28日（木）のオープニングセレモニーにもゲストとして参加しました。

今後もナレッジキャピタルは、海外機関と積極的に連携を行い、「国際交流」の発展を目指してまいります。

以上

＜本件に関するお問い合わせ先＞

一般社団法人ナレッジキャピタル 担当：稗方・奥村 電話：06-6372-6427／FAX：06-6359-2970

※ナレッジキャピタルは、2013年4月に民間企業主体により開業した「グランフロント大阪」の中核施設です。「感性」と「技術」を融合し、「新たな価値」を創出する世界初の「知的創造・交流の場」として、開発事業者の出資により一般社団法人ナレッジキャピタルと株式会社KMOが共同運営しています。

※Knowledge City とは

中国大手不動産デベロッパー杭州万科による都市開発プロジェクト。2016年にオープンした22万㎡のオフィスと、順次開業している約8万㎡の商業施設・美術館などの文化施設を有する複合施設で、知識と文化の中心となることを目指している。

すでにアリババやフィリップスなどの世界的企業の拠点を集積し、浙江大学をはじめ近隣の大学との連携・交流を促進。

また、一般消費者が Knowledge City のコンセプトや活動を体感できる参加型施設の「K-Lab」、産業支援・学生起業家支援サービスの交流センター、美術品の展示会、舞台芸術などのイベントを展開する事業「大屋頂文化」（良渚文化芸術センターと連携）と、多岐に渡る活動を実施している。

【施設概要】

施設名	ナレッジキャピタル	
所在地	〒530-0011 大阪市北区大深町 3-1 グランフロント大阪 北館	
施設案内	The Lab. みんなで世界一研究所 (アクティブラボ・カフェラボ・イベントラボ)	地下1階～3階
	フューチャーライフショールーム	1階～6階
	ナレッジシアター	4階
	ナレッジサロン	7階
	コラボオフィス・コラボオフィスネクス	7階～8階
	カンファレンスルーム	8階・10階
	ナレッジオフィス	9階～13階
	コンベンションセンター	地下1階～地下2階
運営組織 代表者	一般社団法人ナレッジキャピタル 株式会社 KMO	代表理事 宮原 秀夫 代表取締役 小田島 秀俊
事業者 (五十音順)	NTT 都市開発株式会社 株式会社大林組 オリックス不動産株式会社 関電不動産開発株式会社 新日鉄興和不動産株式会社 積水ハウス株式会社 株式会社竹中工務店 東京建物株式会社 日本土地建物株式会社 阪急電鉄株式会社 阪急阪神リート投信株式会社 三菱地所株式会社	